

介護保険制度の抜本改善、大幅な処遇改善を求める請願署名第 3 次提出集会の開催、誠におめでとうございます。

本日は公務と重なり出席が叶わず、メッセージでの参加となりましたことをお詫び申し上げます。

介護保険制度開始から 25 年、訪問介護の基本報酬引き下げによる事業撤退が相次ぎ、2024 年の倒産・休廃業件数が過去最多の 784 件に達するなど、介護現場は危機的状況にあります。全産業平均との賃金格差は月額 8 万 3 千円にまで拡大し、2026 年度には 25 万人の介護職員不足が見込まれています。このような状況下で、さらなる利用料負担拡大やサービス縮小を検討することは、制度の崩壊を加速させるものであり、容認できません。

国民民主党は、介護職員等の給料を 10 年で地域の実情を勘案しつつ 2 倍にするとともに、処遇改善加算等は対象者に直接給付する政策をかせ、制度の持続可能性確保に全力で取り組んでまいります。皆様とともに、ケアが大切にされる社会の実現を目指します。

令和 8 年 5 月 25 日

衆議院議員 野村美穂

